

SDGsクイズ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任 
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	

ゴール1 貧困をなくそう

1 貧困を
なくそう



世界には「国際貧困ライン」(1日200円未満で暮らすこと)に該当する人が約10人に1人いるとされています。SDGsでは、2030年までに当ライン未満の貧困を終了することを目的にしています。

◆ 私たち・消費者にできること

- フェアトレード商品(適正な価格と対等な関係の貿易)、サービスを選ぶ
- 寄付つき商品を選ぶ

ゴール1 貧困をなくそう

1 貧困をなくそう



クイズ

世界の10人に1人が、1日があるものの金額以下での暮らしを強いられています。あるものとはどれでしょう？

- コンビニ弁当1個分
- ティッシュペーパー5箱分
- 牛乳パック1本分

正解は

ゴール2 飢餓をゼロに

2 飢餓を
ゼロに



人々が食べるのに十分な食料が生産されている一方、世界で9人に1人が飢餓に苦しんでいます。ゴール2は飢餓を終わらせ、食料安全保障を実現し、人々の栄養状態の改善を目的としています。

◆ 私たち・消費者にできること

- フードバンク活動に協力する
- 食品の廃棄や食品ロスを減らす

ゴール2 飢餓をゼロに

◆ 消費財・サービス



クイズ

穀物は、世界中の人が暮らすのに必要な量の生産がされているにもかかわらず、世界には飢餓に苦しんでいる人がいます。世界人口の何人に1人が飢餓に苦しんでいるでしょう？

- 9人
- 900人
- 3000人

正解は

ゴール3 すべての人に健康と福祉を

3 すべての人に
健康と福祉を



世界では「5歳の誕生日を迎えることなくなくなる子供は年間520万人。6秒にひとり」幼い子どもが亡くなっています。その多くは開発途上国です。その要因として十分な医療が受けられない、社会福祉サービスが整備されていないこと等が考えられます

◆ 私たち・消費者にできること

- オーガニック(有機)商品を選ぶ

ゴール3 すべての人に健康と福祉を



クイズ

世界で最も多くの人間の命を奪っている生き物はどれでしょう？

- ヘビ
- サメ
- 蚊

正解は

ゴール4 質の高い教育をみんなに

4 質の高い教育を
みんなに



日本の義務教育は9年間ですが、「小学校に通うことのできない子どもの数は、世界で約5900万人。」教育を受けないと文字が読めず、正しい情報を入手できない、就職できず、貧困から抜け出せない等、様々な問題につながります。

◆ 私たち・消費者にできること

- フェアトレード商品、サービスを選ぶ
- 寄付つき商品を選ぶ

● ゴール4 質の高い教育をみんなに

4 質の高い教育を
みんなに



クイズ

世界の小学校に行く年齢のうち、5900万人が小学校に通えていません。一番多い地域はどこでしょう？

- 南アジア
- サハラ以南のアフリカ
- アメリカ

正解は

ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性は教育を受けなくていい、家庭に入れば良い等の考え方は途上国だけでなく、先進国にも残っています。日本も、男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」の調査で、2021年は世界156カ国中120位という結果になりました。

◆ 私たち・消費者にできること

- 女性が働きやすい環境をつくらしている会社の商品、サービスを選ぶ

ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



クイズ

「世界の子どもの花嫁のうちサハラ以南のアフリカが占める割合は、25年前は7人に1人」でしたが現在は何人に1人の割合でしょう？

- 20人に1人
- 7人に1人
- 3人に1人

正解は

ゴール6 ● 安全な水とトイレを世界中に

6 安全な水とトイレ
を世界中に



世界中の約1/3の人々、約22億人が安全な飲み水を使えません。また、世界中の約55%は安全で衛生的なトイレを使えない状態です。

◆ 私たち・消費者にできること

- 安全な水・衛生設備や、石けんを使った正しい手洗いを普及する活動を支援している企業の商品、サービスを選ぶ

ゴール6 安全な水とトイレを世界中に



クイズ

世界では何分かに1人の新生児が不衛生な水や環境が原因の感染症で命を落としています。感染症で亡くなる新生児は何分かに1人でしょう？

- 1分に1人
- 10分に1人
- 30分に1人

正解は

ゴール7 エネルギーをみんなに、そして クリーンに



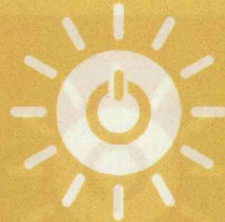
日本はエネルギー自給率が諸外国に比べ低く、石油・石炭等の化石燃料への依存度は8割強とされています。化石燃料から排出される温室効果ガスについて、最近、日本の排出量は減少していますが、今後も削減に向けた努力が必要です。

◆ 私たち・消費者にできること

- 省エネルギーの工夫をする
- 再生可能エネルギーを使う

ゴール7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



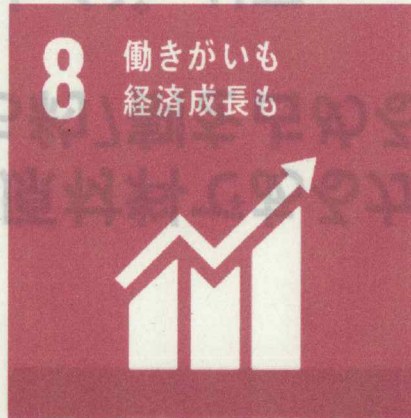
クイズ

世界人口の10人中9人は電力を利用可能ですが、その電力をつくる時に使用している再生可能エネルギーが占める割合は世界平均は27.8%です。日本での発電電力量に占める再生可能エネルギーの導入は何%でしょう??

- 54%
- 35%
- 20%

正解は

ゴール 8 働きがいも、経済成長も



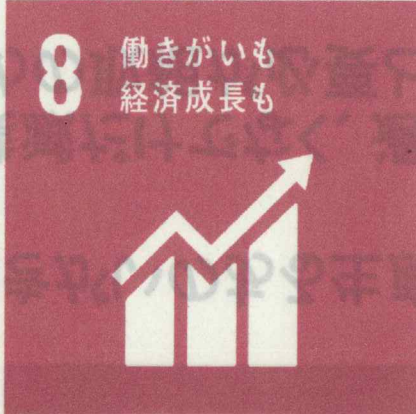
持続的な経済成長と、働きがいのある生産的な仕事ができる社会の実現を目指しています。

児童労働、強制労働の撲滅だけでなく、過労死等をなくし、誰もが人間らしく働ける社会にするための取組が必要とされています。

◆ 私たち・消費者にできること

- フェアトレード商品を選ぶ
- 従業員の労働環境に配慮した会社の商品・サービスを選ぶ

● **ゴール8 働きがいも、経済成長も**



クイズ

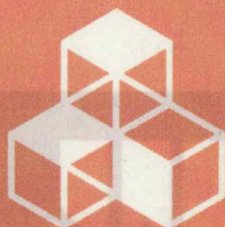
チョコレートやココアの原材料であるカカオ豆ですが、日本が輸入しているカカオ豆のうち約7割を占める輸入先の国はどこでしょう??

- ナイジェリア
- ガーナ
- コロンビア

正解は

ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



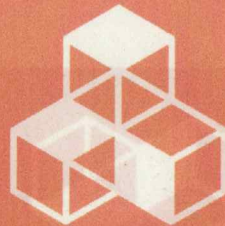
インフラは生活に必要な施設やサービスで、道路、電力、水道等です。人々の暮らしを向上し、経済を整備させる為にはインフラの整備が不可欠です。また、日本はエネルギー自給率が諸外国に比べ低く、石油・石炭等の化石燃料への依存度は8割強とされています。化石燃料から排出される温室効果ガスについて、最近、日本の排出量は減少していますが、今後も削減に向けた努力が必要です。

◆ 私たち・消費者にできること

- 生活改善の支援や、技術革新への取組、技術留学生の受入をし、その情報発信を行っている企業の商品、サービスを選ぶ
- 省エネルギーの工夫をする

ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



クイズ

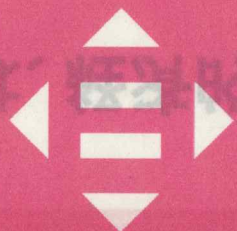
開発途上国であるアフリカ諸国では、水道・電気・インターネットなどのインフラ整備が不十分なことが原因で、生産性の何%かが失われているといわれています。生産性の何%が失われているでしょう？

- 約10%
- 約20%
- 約40%

正解は

ゴール10 人や国の不平等をなくそう

10 人や国の不平等をなくそう



全世界の所得のうち、40%は世界の最富裕層が保持していますが、最貧層は全世界の所得のわずか2~7%程度しか保有していません。こうした格差は所得だけではなく、性別、人種、民族など多岐にわたり、グローバルな解決が必要とされています。

◆ 私たち・消費者にできること

- フェアトレード商品、寄付つき商品、障がいがある人が作った商品、サービスを選ぶ

ゴール10 人や国の不平等をなくそう

10 人や国の不平等をなくそう



クイズ

世界で最も裕福な8人は、経済的に恵まれない人の何人分のお金を持っているでしょう？

- 3600万人
- 3億6000万人
- 36億人

正解は

ゴール11 住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられる
まちづくりを



2050年までに都市人口は65億人に達し、実に世界人口の3分の2以上が都市部に住まうことになるといわれています。都市部の暮らしは便利な一方、人口が集中することで住居費の高騰、大量のごみ・大気汚染の発生などの問題を抱えており、極度の貧困状態にある人々が集まる「スラム」が形成される大都市も少なくありません。また、多くの人が集まるだけに、自然災害に強いまちづくりも求められています。

◆ 私たち・消費者にできること

- 地域の活動に参加したり、応援になる商品、サービスを選ぶ
- ごみを減らす



ゴール11 住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられる
まちづくりを



クイズ

人びとが避難や移住しなければならない災害の年間発生件数は、2010年代は、1970年代の約何倍に増えているでしょう??

- 約5倍
- 約2倍
- ほぼ変わらない

正解は

ゴール12 つくる責任、つかう責任

12 つくる責任
つかう責任



ものの生産には大量の資源・エネルギーが消費される一方で、大量の食品が食べられることなく廃棄される「食品ロス」が発生しているのが現状です。資源が有限である以上、大量生産・大量消費は長くは続けられません。「責任ある生産と消費」を行うことが重要とされています。

◆ 私たち・消費者にできること

- エシカル消費(人、社会、地球にとっても良い消費)、食品ロス削減を心がける
- 賞味期限の近い商品を選ぶ



● ゴール12 つくる責任、つかう責任



クイズ

袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、期間が過ぎても食べられる期限はどちらでしょう？

- 消費期限
- 賞味期限

正解は



ゴール 13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動の原因は二酸化炭素(CO2)をはじめとした温室効果ガスです。CO2を吸収する森林が破壊されていることも相まって、現在の排出量は、1990年と比較して50%以上増えています。地球温暖化によって引き起こされる現象は気温の上昇のみにとどまらず、強大な台風や豪雨の発生・海面の上昇による沿岸部の浸水・浸食といった自然災害の増加にもつながります。

◆ 私たち・消費者にできること

- 省エネルギー、省資源を進める
- 再生可能エネルギーを使う

ゴール13 気候変動に具体的な対策を



クイズ

地球温暖化の1番の原因は、人間による温室効果ガスの排出です。家庭からの二酸化炭素排出量の内訳で割合が1番高いのは、次のうちどれでしょう？

- 照明・家電製品などから
- 自動車から
- 暖房から

正解は



ゴール14 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守ろう



世界中で30億人以上が海を頼りに生計を立てていますが、現在では世界の漁業資源の約30%が乱獲される「獲りすぎ」の状態であり、持続可能な漁獲を維持するための水準を大きく下回っています。また、2050年には海洋に廃棄されるプラスチックごみの量が、魚の量を上回るとも予測されています。

◆ 私たち・消費者にできること

- エコバッグを持つ
- MSC認証(海のエコラベル)の商品、サービスを選ぶ



ゴール14 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守ろう



クイズ

現在の海洋生物の量は、1970年代と比べてどれくらいの割合になっているでしょう？

- 約70%
- 約半分
- 約30%

正解は

ゴール15 陸の豊かさも守ろう



森林は世界の陸上面積の約30%を占め、気候変動への対処において不可欠な役割を担っています。また、人間が必要とする食料の80%は、植物から提供されています。しかし、1990年から2015年までの25年間で、日本の国土面積の3.4倍に当たる約1億2,900万ヘクタールの森林が世界で消失し、乾燥地の劣化・砂漠化は深刻な問題です。また、森林伐採によるすみかの消失や砂漠化、大気汚染などの気候変動によって、動物の絶滅が引き起こされており、現代は、地球に生命が誕生して以来6回目の「大量絶滅時代」と言われています。

◆ 私たち・消費者にできること

- レインフォレスト・アライアンス認証(人と自然のための共同行動)、FSC認証(責任ある森林管理)の商品、サービスを選ぶ
- 植林活動や生き物調査に参加する

ゴール15 陸の豊かさも守ろう

15 陸の豊かさも
守ろう



クイズ

日本で確認されている絶滅危惧種は3690種を上回りますが、次のうち絶滅危惧種に指定されている生き物はどれでしょう？

- ツキノワグマ
- アカウミガメ
- コウノトリ
- 全部

正解は



ゴール16 平和と公正をすべての人に

16 平和と公正を
すべての人に



世界には、平和で安全な地域と、紛争や暴力が多く起こる地域があります。紛争や災害によって世界の子ども約4人に1人が不安な生活を送り、中には、虐待や児童労働、人身取引といった暴力の被害に遭っている子どもがいます。また、法の支配がない場所では、性暴力、犯罪、搾取、拷問も蔓延しています。これらを解決するために、法の支配の強化・人権の推進に加え、開発途上国が国際機構へ参加することが鍵となります。

◆ 私たち・消費者にできること

- 多様性を受け入れている企業の商品・サービスを選ぶ
- 公正な社会を創るために投票に行く



ゴール16 平和と公正をすべての人に

16 平和と公正を
すべての人に



クイズ

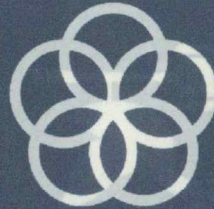
紛争などが原因で住む場所を追われ、世界では何秒かに1人が移動しなければならない状況にあります。移動しなければならないのは何秒に1人でしょう？

- 2秒に1人
- 120秒に1人
- 300秒に1人

正解は

ゴール17 パートナリーシップで目標を達成 しよう

17 パートナリーシップで
目標を達成しよう



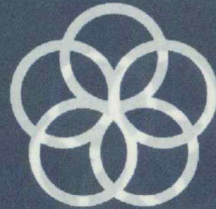
SDGsの実現には、先進国と開発途上国との協力が不可欠です。紛争や自然災害にも、国の成長や貿易にも資金と援助は必要です。そして技術や知識を得られるようにすることで、アイデアを共有し、技術革新を促します。SDGsの達成には、国と国、企業と消費者など、世界中の人々が共に意識して行動することが必要です。

◆ 私たち・消費者にできること

- 環境にやさしい技術の開発や移転、普及を進める企業の商品、サービスを選ぶ

ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



クイズ

SDGsの1～17までの目標を達成するために必要なのは次のうちどれでしょう?

- 先進国が変化を先導すること
- 世界中のすべての人が協力すること

正解は